

第8節 社会体育

1 社会体育関係各種指導者講習会

(1) 野外活動(サイクリング)指導者講習会

- ① 期 日 昭和52年10月22日～23日(1泊2日)
 ② 会 場 福島県自転車会館
 福島県少年自然の家(郡山市)
 ③ 参加対象
 県内各市町村教育委員会社会体育担当職員、公民館職員、体育指導委員、スポーツ指導員、スポーツ少年団指導者、野外活動指導者、ユースホテル指導者
 ④ 講習内容及び講師
 ア 講 義
 (ア) サイクリングの基礎知識
 福島県サイクリング協会事務局 伊藤栄太郎
 (イ) 自転車の機能と組み立て調整
 日本サイクリング協会嘱託講師 明石 悠久
 (ウ) 実走上必要な交通ルール
 日本サイクリング協会嘱託講師 佐藤 勝彦
 イ 実走、映画、研究協議
 上記3講師のほか
 福島県サイクリング協会専務理事 加藤 宏
 ウ 資格認定試験

⑤ 概 況
 県下16市町村から37名の参加があった。受講者全員熱心に研修し、資格認定試験にも全員好成績で合格し、大きな成果を取めた。本県サイクリング指導者は150名を数え、本県サイクリング活動の普及発展に大きく寄与出来るものと思われる。

(2) 野外活動(スキー)指導者講習会

- ① 期 日 昭和53年1月5日～7日(2泊3日)
 ② 会 場 沼尻スキー場(猪苗代町)
 田村屋旅館
 ③ 参加対象
 県内各市町村における社会体育関係指導者
 ④ 講習内容及び講師
 ア 講 義
 (ア) スキーの効果的指導法
 福島県体育協会事務局長 松山 六郎
 (イ) スキー事故の防止と救急法について
 日本赤十字社救急指導員 渡部 義健
 イ 実 技
 対象の特性に応じたスキー技術の指導法
 全日本スキー連盟指導員 阿部 庄司
 " 渡部 勝利
 " 小沢 新

- 全日本スキー連盟指導員 斉藤 一
 ⑤ 概 況
 県内29市町村から65名の参加があった。積雪に恵まれ雪質天候もよく、参加者全員事故もなく研修の目的を達成することができた。講習会終了後に実施した技術検定試験には2・3級に多数の合格者があった。

(3) スポーツ活動指導者県内中央講習会

- ① 期 日 昭和52年5月10日～12日(2泊3日)
 ② 会 場 福島体育館
 県立福島工業高等学校庭球場
 信夫ヶ丘野球場
 福島体育館付属合宿所
 ③ 参加対象
 県内7地区で行う講習会の講師となる軟式庭球、バドミントン、家庭バレーボール、卓球・ソフトボールの指導者42名(各教育事務所から6名)
 ④ 講習内容及び講師
 ア 講 義
 県民スポーツ大会について
 県教育庁保健体育課主事 結城 勝夫
 イ 実技と審判法
 (ア) A 群
 ⑦ 軟式庭球
 相双体育指導委員協議会長 高城 繁雄
 ⑧ ソフトボール
 県ソフトボール協会審判部長 島貫 宏
 (イ) B 群
 ⑦ バドミントン
 県バドミントン協会理事長 須藤 博
 ⑧ 卓 球
 郡山市卓球協会理事長 深谷 秀三
 ⑨ 家庭バレーボール
 福島大学助教授 細川 健
 (ウ) トランポリンの練習法について
 県立福島商業高等学校教諭 佐久間喜孝
 ウ 研究協議
 地域の実態に応じたスポーツ行事の企画と運営
 福島大学助教授 細川 健
 福島市教委社会教育主事 畑 次男
 県教育庁保健体育課指導主事 佐浦 鉄吉
 ⑤ 概 況
 県民スポーツ大会の実施予定種目をA群、B群に分け実施する。また全受講者を対象にトランポリンの練習法指導法も行ったが3日間を通し好天に恵まれ、受講生は終始熱心に研修した。

(4) 県内市町村巡回スポーツ指導

- ① 期日、開催地、参加対象、参加者数、講習内容

フ ロ ッ ク	期 日	開 催 地	参 加 対 象	参 加 員	講 習 会 内 容		
					講 義	実 技	研 究 協 議
県 北	6月18日	川 俣 町	各地域における社会体育関係指導者	80名	スポーツの生活化への提言	家庭バレーボール、卓球、ソフトボール、バドミントン、軟式テニス	地域におけるスポーツ活動のすすめ方
県 中	6月28日	須 賀 川 市		43名		"	
県 南	6月17日	棚 倉 町		85名		"	
会 津	6月22日	会津坂下町		86名		家庭バレーボール、卓球、ソフトボール	
南 会 津	6月21日	伊 南 村		38名		家庭バレーボール、卓球、ソフトボール、バドミントン、軟式テニス	
相 双	6月14日	小 高 町		46名		"	
い わ き	6月27日	い わ き 市		55名		卓球、軟式テニス	